

中央大学 2025 年度一般選抜

【出題の意図】

試験日	2025 年 2 月 9 日
学部・試験方式	5 学部共通選抜
科目	政治・経済

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

大問Ⅰ

【出題の意図】

Ⅰは、主に、三権分立制の理解を問おうとするものです。歴史的な由来（問 1，問 2），外国の状況の把握（問 3）を踏まえ，わが国の憲法上の制度を理解しているか（問 4，問 5），とりわけ司法権によるチェックを理解しているか（問 6，問 7）を問うものです。いずれも教科書に記載されている事項ですので，丸暗記で対応できますが，歴史的な経験や，外国との比較を踏まえていれば，理解と定着が容易な事項を出題しています。司法権の現状と課題を問う部分（問 8）は，やや応用的なものになります。

大問Ⅱ

【出題の意図】

Ⅱは，株式会社を中心とする資本主義経済の機能と諸問題への理解について，戦後の日本企業の歩みを題材に問うものです。この問に答えるためには，資本主義経済の基本を理解するとともに，戦後の日本経済が企業を中心にどのように発展してきたか，資本主義経済で未解決の問題にどのようなものがあるかを理解する必要があります。教科書で基礎をしっかりと学ぶとともに，資料集のグラフ等の示唆を考えること，時事問題に関心を持つことが求められています。

大問Ⅲ

【出題の意図】

Ⅲは，「政党政治」という政治形態のあるべき姿について考えてほしいという意図の下で出題しています。そのためには，政党政治とはそもそもどのような政治形態であるのか，戦後の政党政治はその変遷の中でどのような紆余曲折を経験し，それがどのような変化をもたらし，そしてどのような姿となって現在に至っているのかを知る必要があります。本問は受験生がこれらの点について正しい理解と知識を有しているかどうかを問うものとしています。

大問Ⅳ

【出題の意図】

Ⅳは，近年，重要性がより一層高まっている「金融リテラシー」についての問題です。各設問の難易度はいずれも高くありませんが，これは「リテラシー」である以上，基本的な内容について正しい理解と知識を有していて欲しいからです。各金融商品の名称，リスクや特徴などを問うもの（問 1，問 3，問

4, 問5, 問7), 複数の金融商品間の特徴の違いについての理解を問うもの(問6)があります。最後の問8は, 世界的にも資産運用の王道とされている「長期・積立・分散」についての理解を問うものです。また金融リテラシーの重要性が高まるまでの歴史的な流れについての設問も設けました(問2)。

以上